

令和元年(2019年)12月24日
市立伊丹病院検討特別委員会資料

～あらゆる世代が安心して暮らせるまちへ～

資料5

伊丹市と公立学校共済組合による共同調査研究 事業中間報告市民説明会実施概要について (出前講座含む)

地域医療体制整備推進班



中間報告説明会(出前講座含む)にかかるとる周知方法

- 広報伊丹11月15日号 1面
- 11月14日朝日新聞
- 市ホームページ
- 各公共施設へのチラシ配架
- 市SNS (facebook・twitter)

(その他) 中間報告結果概要

- 10月24日 神戸新聞、朝日新聞、読売新聞
- 11月7日 毎日新聞
- 市長の部屋～ふじわラジオ11月10日放送
- 市ホームページ
- 広報伊丹12月1日号 ふじわランド

**市と公立学校共済組合による
共同調査研究事業 中間報告
説明会などを開催**

日時などは次の通り。
【日時・会場】 ※11月23日
 祝午前10時～11時 市庁舎1階ホール
 25日(月)午後6時～7時 市庁舎1階ホール
 27日(水)午後2時～3時 市庁舎1階ホール
 28日(木)午後2時～3時 市庁舎1階ホール
 29日(金)午後2時～3時 市庁舎1階ホール
 30日(土)午後2時～3時 市庁舎1階ホール
 31日(日)午後2時～3時 市庁舎1階ホール
 内容は、市と公立学校共済組合による共同調査研究事業の中間報告、病棟整備機、候補地の検討の説明など。手話通訳・要約筆記あり。
【対象・定員】 市内在住・日時などは次の通り。
【内容】 市と公立学校共済組合による共同調査研究事業の中間報告、病棟整備機、候補地の検討の説明など。手話通訳・要約筆記あり。
【出前講座を開催】 「伊丹市における地域医療体制の今後」について市職員が訪問し、分かりやすく説明する「まちづくり出前講座」を開催します。去来日などは次の通り。
【実施日】 11月15日から、原則として▽平日11午前10時～午後9時▽土・日曜、祝・休日11午前10時～午後5時、1講座1時間半。
【会場】 申込者が市内で確保(費用も申込者負担)。
【対象】 市内在住・在勤・在学で10人以上の団体やグループ。
【講師料】 無料。
 ※11月15日から電話で市地域医療体制整備推進班 ☎767・1029へ。

11月15日広報伊丹

**伊丹2病院統合
市民向け説明会**
あすから受け付け

老朽化している伊丹市立伊丹病院(昆陽池1丁目)と、近畿中央病院(車塚3丁目)との統合を検討している伊丹市は、市民向けの説明会を開く。

23日11午前10時、北野4丁目のきららホール(定員1000人)▽25日11午後6時、南野2丁目のラスターホール(同2000人)▽30日11午後2時、千僧1丁目の市立中央公民館(同)の3回で、各回1時間半。申し込みは15日午前9時から、市地域医療体制整備推進班の窓口か、電話(072・767・1029)で受け付ける。先着順。

同市は、高度急性期医療や災害時に対応できるよう、統合を視野に現在の伊丹病院を建て替える方向で協議していることを明らかにしている。一方、一部住民からは、身近な病院が減ってしまうとして2病院の存続を求める署名を、市長に提出している。市は12月下旬に統合の可否を含め、基本方針案を示す予定だ。

(中塚久美子)

11月14日朝日新聞

実施概要

■ 説明会

① きららホール

日時: 11月23日(土・祝) 10時～11時

定員: 100名

参加者: 10名

② ラスタホール

日時: 11月25日(月) 18時～20時40分

定員: 200名

参加者: 33名

③ 中央公民館

日時: 11月30日(土) 14時～15時30分

定員: 200名

参加者: 30名

■ 出前講座 ※11月末時点

日程: 11月19日(火)～26日(火)

団体数: 3団体

参加者: 53名



11月23日きららホール



11月25日ラスタホール



11月30日中央公民館

市民からの主な意見(類型別意見)

1. 近畿中央病院の存続について

- ① 統合した場合、近畿中央病院はどうなるのか。
- ② 現在、近畿中央病院で診療を受けており、近くから無くなることは困るので、要望として近畿中央病院を残して欲しい。
- ③ 近畿中央病院がなくなるのであれば、地域の医療を守るために市が率先して何らかの医療機能を残すよう要望します。
- ④ 近畿中央病院の果たす役割は何なのか。

2. 医療機能について

- ① 分娩等への対応はどうなるのか。NICUもできるのか。
- ② 伊丹市内に高度な医療を提供できる病院ができることは賛成であるが、統合により病床数が減るのに回復期の受け皿病院を確保することはできるのか。
- ③ 市内完結率80%を目指す必要があるのか。
- ④ 現地建て替えの工事期間中、診療機能が停止されることはないのか。

3. 病床数について

- ① 両病院で病床数が200床減ることになるが大丈夫か。
- ② 病床規模を大きくすることで、医療機能を充実させるということか。
- ③ 新病院が良い病院になることを期待している。新病院が高度急性期病院を目指し、良い医療機器、医師を確保すれば、市外から患者が流入する可能性等を考慮した上で600床規模で対応できるのか検証をして欲しい。

4. 経営形態について

- ① 統合した場合、経営形態はどうなるのか。地方独立行政法人化せずに公立病院として残して欲しい。
- ② 市が主体となって運営して欲しい。

5. アクセスについて

- ① 南部から市立伊丹病院に向かう市バスのアクセス、利便性を向上させてほしい。

6. その他

- ① 現地建て替えを行う場合、土地を確保できるのか。
- ② 平均在院日数短縮の主な要因は何か。
- ③ 新病院建設にかかる事業費の規模はどの程度か。市の財政は大丈夫なのか。
- ④ 我々の集めた署名や説明会で述べた意見は検討内容にどのように反映されるのか。
- ⑤ 今回の説明会に対する質疑応答の記録を公表して欲しい。
- ⑥ 12月以降も出前講座等で詳しい説明をお願いしたいと考えています。
- ⑦ いい病院を作って欲しい。
- ⑧ 医師の確保が大切だと思う。